

# しん SHIEN No.46

2024 2/1



<http://kisokobe.sub.jp/>

## 兵庫の新たなステージへ

兵庫県知事 斎藤元彦



新年あけましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会経済活動が正常化しました。その一方で、物価高騰や円安は依然として私たちの暮らしに影響を及ぼしています。

こうしたなかでも、阪神タイガース、オリックス・バファローズ、ヴィッセル神戸の活躍は、私達に感動を与え、地域に元気をもたらしてくれました。

選手達のはつらつとしたプレーのように、令和6年の県政も、だれもが夢や希望を持って挑戦できる社会をめざし、「攻めの県政」を展開する年にしたいと思います。

まずは、若者・Z世代への支援です。

兵庫県立大学・大学院の奨学金返済支援の拡充など、結婚・出産のハードルにもなっている教育費の負担を軽減します。また、海外への留学等を支援し、国際視野を得る機会を広げます。不妊治療支援や若い世代に向けた住宅支援の充実など、兵庫で子どもを生み、育てたいという希望を叶える環境づくりも進めます。

高齢者の安全安心な暮らしを守ります。

特殊詐欺被害が過去最悪のペースで増加するなか、被害者の8割を占める高齢者を被害から守るために、全国一の規模で集中的に対策を強化します。自転車ヘルメットの購入支援を行い、高齢者に多い自転車死亡事故の減少につなげます。また、ソフト・ハード両面からユニバーサルツーリズムを進め、年齢や障害の有無に問わらず安心して旅行ができる社会を実現します。

地域のボランティアを活かし、兵庫の持続的発展につなげます。

人と環境にやさしい農業、革新に挑む地場産業、地域に根付く芸術文化など、兵庫各地の人々の暮らしは、世界が持続可能な発展を遂げるための多くのヒントがあります。大阪・関西万博を機に、こうした現場に国内外の人々を誘う「ひょうごフィールドバビリオン」の取組を加速します。また、脱炭素社会実現の鍵となる水素エネルギーの活用や、有機農業の拡大に向けた担い手育成など、持続的な成長を支える取組を先導します。

県政推進にあたり、現場主義の徹底と対話重視の姿勢に変わりはありません。これまで以上に、現場に足を運び、地域の皆様との対話から出てくる課題やニーズを積極的に施策に反映していきます。

兵庫の新たなステージに向け、果敢に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

筆者（岩村義雄）は現代の道義上の最大の被害を被っているシリアル犯と過ごしてきました。孤児の家をどのように建設するためです。

年末、年始、筆者（岩村義雄）は現代の道義上の最大の被害を被っているシリアル犯と過ごしてきました。孤児の家をどのように建設するためです。



Chtoura 2024年1月3日

能登にあなたの祈りが届きますように



『文化時報』(2024年1月16日付)

人。中国、韓国の経済力が追い越していることを感じます。アジア人として見られても、どこの国から来たか、となると日本の存在感は薄れています。そんな中でも「China」が圧倒的に知れ渡っています。小文字で書き始めると「china」と言えます。日本は漆器です。その漆器のメカとも言うべき輪島が燃えている画像は世界中に拡がりました。シリアル人が気の毒そうに慰めて声を

かけられました。1月5日朝5時と能登の輪島、珠洲市に向かいました。5日、地割れ、隆起の1号線を経て輪島市河井町に入りました。1月14日に、神戸市社会福祉協議会、生活協同組合コープこうべ、フレーバンク関西の協力の下、医療関係者（医師1名、看護師1名、スタッフ1名）も加わり、現地市役所の依頼で炊き出し計1000食を避難所、輪島中学校などで神戸からの10人が仕えました。プロパン、コンロ、大鍋、食材など。他に衛生消毒材料、水、簡易トイレなどを搭載して仕えました。



『毎日新聞』(2024年1月17日付)



『北陸中日新聞』(2024年1月17日付)

2月4日から炊き出しをします。皆さまからのご支援によつて働きがでています。ありがとうございます。

ヤマザキ  
世界のパン  
ヤマザキ

Otsuka  
株式会社大塚製薬工場  
〒772-8601  
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115  
TEL 088-685-1151(代表)

MIYOSHI  
ミヨシ石鹼株式会社  
〒130-0021  
東京都墨田区緑3-8-12  
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ  
TAKENAKA  
竹中工務店  
〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13  
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1





『石巻かほく』(2023年12月22日付)



3・11、古今未會有の大津波、大地震マグニチュード9・0に襲われた。神戸の学生たちが現地入りすることを耳にした玉の肌石鹼株式会社の東京本社の会長三木晴雄氏は、首尾良く活動できるよう惜しみない支援を申し出てくださいました。私がはじめてボランティアに参加した時だった。あれから12年、海外に孤児の家を造るようにもなった。それもゼロのスタート時点に三木氏の最初の応援があつたからこそ感謝している。いわば後方の本丸の城主のような存在であった。私たちはその斥候として薪運ぶ僕、水汲む僕として、最前線にゲリラとして遣わされていたのではないだろうか。

## 神戸国際支縁機構の産みの親三木晴雄氏逝く

2023年12月8日

代表 村上裕隆

3・11、古今未會有の大津波、大地震マグニチュード9・0に襲われた。神戸の学生たちが現地入りすることを耳にした玉の肌石鹼株式会社の東京本社の会長三木晴雄氏は、首尾良く活動できるよう惜しみない支援を申し出てくださいました。私がはじめてボランティアに参加した時だった。あれから12年、海外に孤児の家を造るようにもなった。それもゼロのスタート時点に三木氏の最初の応援があつたからこそ感謝している。いわば後方の本丸の城主のような存在であった。私たちはその斥候として薪運ぶ僕、水汲む僕として、最前線にゲリラとして遣わされていたのではないだろうか。

12月11日、息を引き取られる直前に、石巻市の障がい者、独居の高齢者、在日外国人のためにクリスマスケーキを例年のように70ホールを山崎製パンにご自身が発注された。最後まで弱者、苦しみ、くやしさに抑圧されている人々に人道支援をする精神を失われなかつた。壮絶な責任感である。三回にわたり癌治療から蘇生して弱つておられた。12月8日に「また会いましょう」と岩村義雄代表に言われた言葉が印象に残つておられた。とはいえやせ細つた体躯には眞の隣人愛が宿つていた。

現地、石巻市では、斎藤正美市長はじめ、祥心会、戸義光理事長、メディア関係者も三木晴雄相談役の惜しみない支援に感銘を受けた。石巻市は感謝状、地元紙も報じた。私は大きな後ろ盾を失つたが、感謝を形に表していきたい。



『石巻日日新聞』(2023年12月20日付)



『東北テレビ』(TBC 2023年12月21日 10:30)



祥心会



代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区緑3-8-12  
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124  
URL: www.tamanohada.co.jp



「ヒューマニティ・ファースト」  
日本アハマディア・ムスリム協会

弁護士法人  
芦屋西宮市民法律事務所

津久井 進

日弁連災害復興支援委員会委員長  
兵庫県弁護士会前会長

TEL: 0798-68-3161

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区緑3丁目8番12号



## 事務局便り

理事長 本田寿久

2023年10月7日に始まったイスラエル・ハマス間の戦争。最初の1か月だけで、ガザで殺された子どもの数は、2年間の戦争全体を通じてウクライナで殺された子どもの総数の6倍でした。イスラエルの容赦ない軍事攻撃により、ガザ地区ではわずか3カ月あまりの間に2万6637人が死亡。そのほとんどが女性と子供だった。

イスラエル軍は「決してパレスチナの墓地そのものを標的にはしていない。墓地を傷つけたり冒涜したりする方針はない」と言ながら、ガザの2000以上の墓地は完膚無きまでに狙われ、破壊し尽くされている。



パレスチナ人に対するイスラエルの非人道的で人種差別的発言が急増している。恐ろしい兆候を示している。加えて、イスラエルはガザを違法に封鎖した。民間人が水や食料、医療を手にできないようにしている。ガザ地区の人びとに底知れぬ苦しみを与え、人びとを生存の危機にさらしている。

米国が拒否権行使して国連安全保障理事会が停戦を求めるのを阻止している。戦争犯罪や人道に対する罪がはびこっている。ジェノサイドの危険性は現実に存在する。シオニストを擁護するアメリカのキリスト教福音派は世界中の広範な反対にもかかわらず、イスラエルを断固として支持している。ガザへの人道支援に拒否権を発動し、停

## パレスチナの78年の呻きが聞こえないか

戦に同意しようとしている。イスラエルに数十億ドルの軍事援助を提供し続けている。

ロシア・ウクライナ戦争にしても、イスラエル・ハマス戦争も宗教がからんでいる。どんな宗教も「汝、殺すなれ」である。「すべて剣をとる者は剣にて亡ぶるなり」(マタイ傳 26:52)。



2018年9月4日

※「ロー・ティルツ・アフ」(岩村義雄 ヘブライ語クラツア ratsach のパル未完了形) (出エジプト 20:13)

○パレスチナ問題に神戸国際支縁機構は発足当時から取り組んできました。

○2023年12月17日、東 静香さん(神戸国際支縁機構事務局)が企画したドキュメンタリーを事務局の6名で拝見。(岩村義雄、東 静香、佐々木美和、村上裕隆、野田健二、本田寿久)。



○2024年1月22日、「阪神宗教者の会」(世話人代表 岩村義雄)で元イスラエル兵士ダニー・ネフセタイ(平和活動家)の「報復はなぜだめか」をZOOMオンライン。

## 救援金、維持会費のご協力を感謝します。(敬称略)

2023年10月20日～2024年1月13日

本田寿久(6)、佐々木美和、岩村義雄、大島健二郎(5)、大西孝、宝塚栄光教会(2)、岩間洋&千恵子(2)、村田優美子、辻本久夫、神戸新聞文化センター、FEW in Osaka、松田エツ子、北村史、趙聖未、星野尚子(3)、チャペル・こひつじ、Rebecca Arthur、有田貞一&美榮子(3)、福田雄二(熊本県相良)(2)、松岡認、廣森勝久&孝子、泉晴代、日本基督教団神戸栄光教会、入江ひろ子、米澤澄子、中山圭子、明石バプテスト教会(2)、保田薰(2)、濱名浩子、前川和弥&幸子(4)、沖浦宏隆(千葉県布良)(3)、福地弥寿子、堀内稔、山田みち子、阿部和夫&齊子(宮城県石巻市)(3)、垂水朝禱会、河内常男(2)、木村ふみ子(石巻市)、姫田光義、高木保、松岡齊、本田大輔、久保田弘人(熊本県人吉市釜田醸造所)、保田茂、佐々木美代子、高祐二、久原満里子、西上千栄子、佐々木駿介、西堀元&容子、朴淳用(神戸学生青年センター)、石井泰代(2)、浪本勝年、野崎和子、李敬司、中村清雅、飛田雄一、新地和恵、水谷弥生、袴田康裕、徐根植、平松幸子、土手ゆき子、土手朋、竹内喜子、佐々木基文(西光院住職)、村田義人、野田健二(3)、丸部眞砂子、嶋田博信&礼子(千葉県布良)(2)、大谷洋子、宮武省子、本田清美、塩川成子(千葉県館山)、守屋香代子、小久保玲子、池口美喜子、小谷登志江(千葉県布良)、柿本雅司、豊島睦子、池永タケコ、原浩司、岩本眞子(福岡県松末)、丹野恵子(宮城県石巻市)、廣瀬素子、福寿恵美(2)、山田通裕、糸島聖書集会(2)、(株)ハミングジョー(赤星)、椿本博久、小島千鶴、千葉聖一(宮城県石巻市)(3)、藤田祥子、阿部艶子、藤野知香、岩本久吉&眞子(福岡県松末)、岡部和香、瀬戸友子、渡邊徹、東灘バプテスト教会、大槻紀夫(2)、佐々木富貴子、谷雅博、鷹取教会有志、愛編クラブ(阪上順子、渋谷智恵美、中井和代、後藤由紀子)、緒方眞喜代(熊本県相良)、財団法人神戸新聞厚生事業団(2)、主イエス恵愛教会、高橋務、永野由美子、飯塚弓子、古川直子、梅木博光(金光教多良木教会)、白方誠彌、在日大韓基督教会神戸教会、熊野千秋、大鶴勝、鄭恵姫、藤原りつ子、庄司慈明(宮城県石巻市)、鈴木敏夫、東原良史、長沼ひとみ、AIC-Japan、梶山洋枝、大野祐弥、牧野健吾、松岡泰夫、KISO牧場、忍ヶ丘キリスト教会、中山壹世子、日向そよ、宍戸義光(宮城県石巻市)、橋本成年、日野謙一、中原朱音、今村佳代子(佐賀県大町町)、安房文化遺産フォーラム、釧路キリスト福音館(2)、白瀬悦子、第38回日韓交流信徒大会(2)、神戸聖福教会、李敬淑、合同会社 Bless 泉 真姫、リョウマサキ、ホームチャペルキリストの花嫁、イエス・キリスト聖成伝道教会、山本 稔、匿名、677,075円

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

・郵便振替

口座 00900-8-58077

加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

・三菱UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863

海外の災害緊急募金には書ける方は『国名』を書き添えてください。

## (一社)神戸国際支縁機構

### ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

### 被災地への支縁物資もお願いします。

### 年会費をお願いします。(月に200円)

会員(年度4月～翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

### 海外の孤児のために支縁金をお願いします。

### 「小さくされた人々のための福音」講座

毎月第3金曜日

午前10時～

神戸学生青年センター

本館1階

### 岩村義雄セミナー

毎月第4月曜日

午後6時半～

ミント神戸17階



左から  
M. シャクルトン、周 悠植、  
許 匠(ホ・ジャン 25歳)

### 編集後記

今回、人生で初めての「被災地ボランティア活動」に参加させていただきました。自分の目で津波、地震の惨状を直接見て、改めて「自然災害の恐ろしさ」を実感しました。

阪神・淡路大震災時は2歳で記憶もありません。全国から多くのボランティアの方々が駆けつけて下さり、助けてくださいましたと聞いて育ちました。今回自分も、微力ながら「恩返し」として被災地に神戸国際支縁機構のみなさんと行けたことは今後の人生においても大きな収穫でした。とりわけ他者のために仕えること、国籍、膚の色、民族の枠を越えてできる体験をさせていただきました。

危機の時だけでなく、平和のために手を取り合っていける時代を先取りした能登半島地震ボランティアだったこと、終生忘れません、テダニ カムサハミダ。

事務局 周 悠植(チュ・ユシッ)

フードバンク関西、神戸市社会福祉協議会、生活協同組合コープこうべ、山本勝からかぼちゃ(2)、前川和弥&幸子から韓国おみやげなど(2)、蓑毛良介&かず子(熊本県相良)から柚子など(2)、なつめ保育園(熊本県相良)から菓子、佐藤金一郎&晴美(宮城県渡波)から柿など。丹野典彦(宮城県石巻市)から海苔(2)、丹野恵子(宮城県石巻市)から海苔、本田巧&敏子(宮城県石巻市)から海苔(2)、本田寿久から柿、梶原ミドリ(福岡県松末)コーヒーなど、岩本眞子(福岡県松末)から柿、松末地域コミュニティ協議会からコーヒー、中村優子(佐賀県武雄)からお茶など、緒方裕之&眞喜代(熊本県相良)からコーヒー、徳留由美から鹿児島名物、(株)チュチュアンナから靴下、三木晴雄(玉の肌石鹼株式会社相談役)から70ホールクリスマスケーキ、木村勝&木村ふみ子(宮城県石巻市)から銀杏、干し柿など(2)、阿部和夫(宮城県石巻市)からビール、大國龍笙(イ去波夜和氣命神社宮司)から干し柿など、阿部和子(宮城県石巻市)から柿(宮城県渡波)からチョコレート、栗原永子からコーヒー、藤野知香からカイロ、西上千栄子から毛糸帽子など、Obonguta Felix からウガンダコーヒー、神戸ベトナム人会からホーなど、M. シャクルトンからチョコレートなど、姜成哲からキムチなど、横山恵子から書籍、